

2020年～2021年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く



土浦ミュージアムコレクション No.9
花火大会プログラム

昭和25(1950)年に開催された第18回大会のプログラムで、英文表記もされています。9月9・10日に開催されました。

〈土浦市立博物館所蔵〉

2020～21年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク 氏

9月は基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間です。

2020～2021年度(第63期 飯山年度)

9月第3例会プログラム

9月17日(第3029回)

VOL.9

- 点 鐘
- ロータリーソング
- 来賓紹介
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 卓話「防災Withコロナ～私たちがとるべき行動～」

- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

会 長
奉仕の理想
会長
親睦活動委員会

一般社団法人 土浦青年会議所
2020年度 理事長 松井 泰信様
2020年度 専務理事 稲本 創様
2020年度 地域活性委員会 委員長 太田 和良様
2020年度 地域活性委員会 委員 石塚 有紗様
S.A.A
出席委員会
会 長
ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番
創 立 1958年2月14日(昭和33年)
承 認 1958年3月 7日(昭和33年)
事務局:土浦市中央2-16-9(常陽銀行4F)

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 飯山 孝之 幹事 關本 淳一

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

第2820地区 2020～2021年度研究会報告

2820地区ロータリー財団研究会報告書

河合 隆 ロータリー財団委員長

日時：2020年7月18日（土）

会場：つくば市 グランド東雲

当日は、コロナ対応という事で、9:30～12:30までと短縮され、司会者は当クラブの平島隆之会員が担当しました。皆さんご存じのとおりの大変な名調子の話術で、予定通りの進行がされました。



保延R財団総括委員長のあいさつと「財団補助金」の講演があった後、「補助金申請状況」、「社会奉仕委員会」、「国際奉仕委員会」、「財団奨学金及び奨学生活動報告」、「ポリオプラス」、「平和フェローシップ」、「寄付状況、地区委員卓話」、「ポール・ハリス・ソサエティ現状入会案内」、等の10本の各担当委員の皆さんの卓話がありました。概ね1卓話あたり15分位で、いずれも盛り沢山の地区委員の方々の熱意を充分反映するお話ではありましたが、私には勉強不足で充分吸収しきれなく、大変申し訳なく感じた次第です。その中で、お伝えしなければならない点としては、地区目標は年次寄付会員1名130ドル、ポリオ寄付20ドルの計150ドルであること。ポリオ撲滅まで、もう少しのところであり、R会員が25ドル寄付するとビルメリンダ財団が50ドル加算する仕組みがあるということです。ここに先月の8/21朝日新聞朝刊の記事があります。「アフリカで最後まで残っていたナイジェリアで世界保健機構が8月25日根絶宣言をする。これで根絶されていない国はアフガニスタンとパキスタンの2か国のみとなった。アフリカでポリオがなくなったことは大きい一歩だが、ゴールではない。国際社会が一丸となって根絶まで取り組まなければならない。とJICAは訴えている。」とあります。土浦ロータリークラブではこのような状況を踏まえ、飯山会長方針として、ポリオにつき地区目標より10ドル増額した30ドルの合計160ドルとし、例年とおりの11月のロータリー財団月間から募金を開始したく存じますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

第2820地区 2020年度青少年奉仕活動について 青少年奉仕委員会の方針

金澤 幸江 青少年奉仕委員長

目的は4部門（①インターアクト、②ローターアクト、③青少年交換、④青少年指導者養成プログラムRYLA）のロータリー活動を通じ、青少年のリーダーシップ等能力を育成



今年度方針は1、青少年活動のイノベーション、小委員会の連携を強める（青少年活動の連携）2、持続可能な世界の実現（中核的価値、SDG2を目指す人材の育成）3、危機管理の徹底

今年度の課題は1、2020年度のローターアクターがロータリーの一員に、2、2020年度ロータリー学友会との連携、3、青少年奉仕活動の危機管理（新型コロナウイルス）

タイ短期交換アウトバンド中止、長期交換の中止、インターアクト研修の中止、インターアクト年次大会の中止、ライラ研修はZOOM会議で開催（10月11日）

インターアクト委員会

12～18歳の中高生が対象（現在250名余、現在5提唱クラブの下で5つのインターアクトクラブが活動中・茨城キリスト教学園高校（日立港RC）・水戸農業高校（東海那珂RC）・水城高校<水戸RC>・水戸女子高校<水戸西RC>・つくば東風高校（土浦南RC）

青少年並びにライラ委員会

ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）

若者の指導力、資質を伸ばすため、14～30歳の青少年にRYLA研修を開催（RACも指導者に）10月11日午後 第41回ライラWeb会議（修了書の発行）

ローターアクト委員会

R Iの正式な加盟クラブ⇒R Iの「標準ローターアクトクラブ定款」が適用
年齢制限の撤廃⇒当地区は年齢制限を35歳に引き上げ（運営規則を改定）

今年度テーマ「バトンタッチ」

18～35歳の若者がリーダーシップや職業スキルを磨く

8 R A C (16 提唱クラブ)⇒会員増強が課題

水戸(15)、下館(5)、つくば学園(11)、土浦南(7)、土浦(0)

茨城大学(6)、古河地区(2)、茨城県北(4)

アクトの日(9/6)、世界R A C週間(3/7)、地区大会(6/5)等 実施は未定

青少年交換委員会

国内外で活躍する青少年の育成 15～19歳の高校生

①アメリカ、フランス、タイとの長期交換留学(1年)

②タイ3350地区との短期交換研修(8日間)

(長期インバウンド) 8月15日～翌年6月末

ホームステイと高校通学、インターアクト大会、歓迎会、ライラセミナー、地区大会

クリスマス会、沖縄旅行、東京見学、青少年交換全国大会

(短期インバウンド) 5月19日～26日(予定) 水戸、東京研修、地区大会

(青少年奉仕ポリオ根絶募金活動)

今年度は中止の方向

土浦ローターアクト会員募集中!!

一緒に奉仕と親睦活動をしてくださる方をご推薦お願いいたします

地区研究会報告 社会奉仕研究会

小倉 史義 社会奉仕委員長

皆さん こんにちは。

社会奉仕委員会を担当しております小倉です。

ご承知の通り 7月開催予定でありました2820地区奉仕プロジェクト研究会が新型コロナウイルスの影響により中止になりました。これに伴い、他の委員会同様に社会奉仕委員会におきましても地区より研究会資料をUSBメモリーにて受領致しました。

今後は、この資料を委員会活動に活用していく所存です。資料には、2017-18年度、

2018-19年度2期分の研究データが記載されており奉仕活動立案の際の留意点、立案構築のプロセス、奉仕事業データ活用シート利用奨励、更には他クラブの事業展開記録もあり今後のクラブ内での奉仕活動の方向性や計画立案に参考になるものと思いました。

今年度池田ガバナー提唱の地区目標に環境問題があります。土浦クラブでは、社会奉仕事業の一環として例年、当委員会内「環境保全」部門として霞ヶ浦総合公園内各拠点の施設整備、清掃活動を行っており世界湖沼会議開催時での関連団体への寄付金贈呈などの実績を活かし積極的な環境問題への取組みを今後も推進していくことが必要です。そして社会を揺るがしている新型コロナウイルスにより各人の身体健康等について大きな関心が高まっていることから当委員会内「人間尊重」部門では、地元医師会開催の市民健康まつりへの協力、かすみがうらマラソンウォーキング部門への参加・支援金贈呈などの活動を例年行っておりますが、ここきてその重要性が高まっているものと感じております。

幸い今年度地区社会奉仕委員として当土浦クラブから佐藤ぱうろ会員が担務しております。地区内とのパイプ役としての立ち位置を活かさせて頂きまして連携して現在の時流に合った事業運営、奉仕活動に繋げていこうと思っております。



職業奉仕研究会報告書

高田 知己 職業奉仕委員長

地区研究会の資料から、職業奉仕についての報告をします。職業奉仕とは、自分の職業を通して、奉仕活動を行い、地域の人々や地域社会から「尊敬と信頼と信用」を自分自身が得ることです。この結果、自分の職業が反射的效果として繁栄することになります。すなわち、最も奉仕する者、最も多く報われるということになります。



職業奉仕とは、ロータリーの真髄であるが、正確な理解は難しいと聞きます。この研究会の資料の中で、印象に残ったところをお話します。それは、近江商人の話でした。近江商人は、大阪商人、伊勢証人と並んで三大商人と呼ばれています。高島屋、住友グループ、西武グループなど近江商人の流れを組む多数の団体が現代でも活躍しています。この近江商人の三方よしの精神が良く取り上げられます。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」です。近江商人は、行商先の人々の信頼を得ることを大切にしました。売り手と買い手がともに満足し、社会貢献ができてこそその良い商売であるとの精神です。この近江商人の精神が職業奉仕の概念の理解の一助になると思われま

す。最後にまとめとして、3つのことがあげられました。①職業奉仕はロータリーそのものである、②例会を通して、奉仕の心を育む、③高潔性をもって、天職により人の為世のためにつくす。

以上をもって地区研究会の報告としたいと思います。

2020-2021 年度 国際ロータリー第 2820 地区 国際奉仕プロジェクトについて ネパール3292地区と友好地区締結

藤澤 昭彦 国際奉仕委員長

2820地区とネパール3292地区が友好地区締結を行いました。3292地区とはネパールとブータンの二か国全域です。両地区においては近年グローバル補助金を活用した協働事業として浄水設備（3学校・1病院）、ソーラー発電（病院ICU・オペ室）、腎臓透析（2病院）、心臓ケアセンター（1病院）等を設置し、地区補助金事業として国連防災戦略（UNDRR）と協働事業でネパール地震最大の被災地であったシンドゥパールチョーク郡の10校にて防災教育を実施しております。さらには日立・下館RCによる貧困児童への教育支援・視覚障害学校への点字図書・点字カレンダーの寄贈を行っております。2007-2008年度には2820地区内の19クラブの出資によりJana Udaya Schoolの耐震校舎の建設、茨城講堂を建設。2011年発生の中東大震災時には、ネパールの子どもたちの募金とネパールRCの資金により茨城県立こども病院に超音波診断装置を寄贈頂いております。



2820地区内における事業として、水戸南RC、バグンバヤン・マニラRCの中古救急車贈与プロジェクト、タイの病院へ医療機器を贈与するプロジェクト、ネパールとの交流事業等が「この指とまれ」事業として予定されております。

ここにBOX

9/10 計11,000円 累計508,000円

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
55名	19名	36名	3名	69.23

例会予告

9月24日 新入会員卓話 廣瀬 正 会員

10月1日 理事会(4)ミリオンダラーミール 会長挨拶 誕生祝 結婚記念日祝 入会記念祝 ロータリーの友紹介